



保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従つた使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、壟害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書での提示がない場合
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
- (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理で相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FM クロックラジオ			★お買い上げ日： 年 月 日
型 番	RAD-C890Z	品 番	03-0949	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前	様		
修理メモ	電話 ()			
販売店	★住所 店名 電話			
	(印)			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にて記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきますので、ご了承ください。

このたびは、AudioComm® AM/FM クロックラジオを
お買い上げいただき
まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項	1
安全上のご注意	2~4
各部の名称	5
使い始める前の準備(電源について)	6
時刻の設定方法	7
ディスプレイの明るさについて	7
ラジオを聞く	8~10
アラームの使いかた	11~12
スリープ機能について	13
故障かなと思ったら	13
お手入れのしかた	14
主な仕様	14
保証書とアフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は、間違った使いかたをすると、火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告



コンセント
から抜く



接続場所を
選ぶ

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



接続場所を
選ぶ

電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く

- 手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れることがあります。
- 本機の電源を切つただけでは、完全に電力を遮断できません。



分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない

- 感電の原因となります。

⚠ 警告

	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。		本機の上に花瓶などの水が入った物を置かない ●火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重い物を載せてしまい、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●電源コードが破損して火災・感電の原因となります。		本機や電源コードの上に重い物を載せたり、電源コードの上に本機を載せない ●電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。		狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。
	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。		本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるような物を置かない

⚠ 注意

	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。		電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
	旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。		音量を上げすぎない ●大きな音量で長時間続けて聴くと、周囲の迷惑になったり、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注意

	乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおりしく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
	電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。		窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
	指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近づけない ●電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。		電源コードを熱器具に近づけない ●電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。		ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

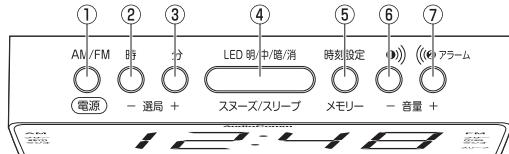
乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

	・水中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない
	・⊕⊖の表示どおりに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使う ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

各部の名称

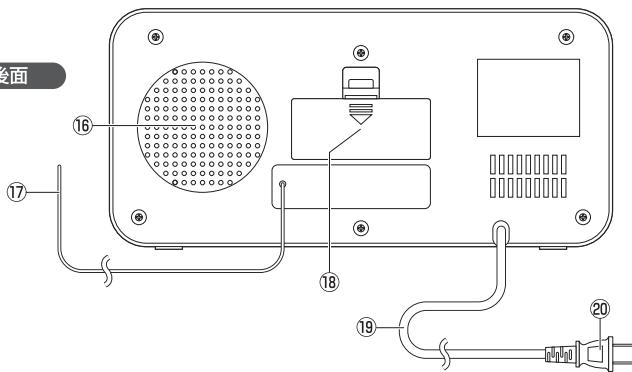
上面



前面



背面



- | | | |
|-------------------------|------------------|--------------|
| ① 電源／バンド切換ボタン | ⑦ アラーム2／音量(+)ボタン | ⑯ スリープランプ |
| ② 時設定／選局(ー)ボタン | ⑧ AM放送ランプ | ⑰ ディスプレイ |
| ③ 分設定／選局(+)ボタン | ⑨ アラーム1ブザー音ランプ | ⑯ スピーカー |
| ④ スヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタン | ⑩ アラーム1ラジオランプ | ⑰ FMワイヤーアンテナ |
| ⑤ 時刻設定／メモリーボタン | ⑪ FM放送ランプ | ⑱ 電池ボックスカバー |
| ⑥ アラーム1／音量(ー)ボタン | ⑫ アラーム2ブザー音ランプ | ⑲ 電源コード |
| | ⑬ アラーム2ラジオランプ | ⑳ 電源プラグ |

使い始める前の準備(電源について)

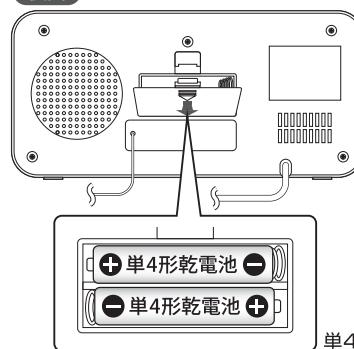
1 時計バックアップ用乾電池を入れます。

時計バックアップ用乾電池を入れておくと、停電時や電源プラグを抜いたときに、現在の時刻設定やアラーム設定、ラジオのプリセット内容を保持します。

重要

時計バックアップ用乾電池は各種設定を本機内に保持するためのものですので、乾電池だけでは本機は動きません。また、停電時や電源プラグが家庭用コンセントに接続していない状態では、ディスプレイには何も表示されません。お使いになるときは、必ず電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。

後面



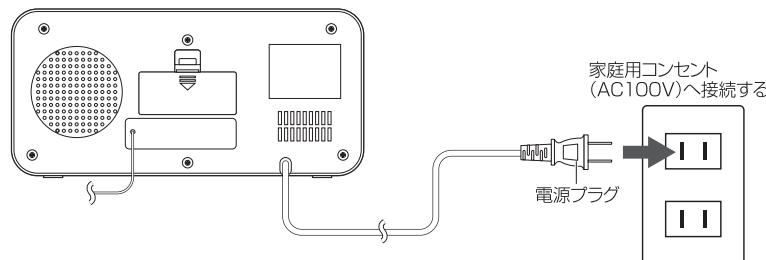
① 電池ボックスカバーを取り外します。
電池ボックスカバーのツメを押し下げながら手前に引き、取り外します。

② 単4形乾電池×2本(別売)を、
+と-の向きに注意しながら入れます。
コイルばねのあるほうが-マイナスです。-側から先に入れてください。

③ 電池ボックスカバーを元どおりに
しっかりと閉めます。

2 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

電源プラグを家庭用コンセントに差し込むと、「0:00」(未設定状態)が点滅します。P.7「時刻の設定方法」を参照して、現在の時刻を設定してください。



ご注意

- 時計バックアップ用乾電池を交換するときは、電源プラグが家庭用コンセントに差し込まれている状態で行ってください。電源プラグを抜いてから行なうと、現在の時刻など、各種設定が失われることがあります。
- 家庭用コンセントから電源プラグを抜くときは、事前に必ず本機の電源を切ってください。

時刻の設定方法

時刻設定／メモリーボタン



上面

時設定／選局(−)ボタン 分設定／選局(+)ボタン

電源が切れている状態で操作してください

① 時刻設定／メモリーボタンを長押しします。

時刻表示が点滅します。



② 時設定／選局(−)ボタンと分設定／選局(+)ボタンで、時刻を合わせます。

時設定／選局(−)ボタン：「時」を合わせます。

分設定／選局(+)ボタン：「分」を合わせます。

どちらのボタンも、長押しすると数字が早送りされます。

表示形式は24時間表示です。



③ 時刻設定／メモリーボタンを押します。

点滅が停止して設定が確定します。約9秒間、何も操作しない状態が続いた場合も、点滅が停止して設定が確定します。

ディスプレイの明るさについて

スヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタンを長押しすると、長押しするたびにディスプレイの明るさが変わります(明→中→暗→消の4段階で調節できます)。



上面

スヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタン

ご注意 「消」にすると、電源が入っているとき(ラジオを聴いているときなど)でも、周波数などは表示されませんのでご注意ください。

ラジオを聴く

電源／バンド切換ボタン



上面

アラーム1／音量(−)ボタン

アラーム2／音量(+)ボタン

時設定／選局(−)ボタン 分設定／選局(+)ボタン

① 電源／バンド切換ボタンを押します。

電源が入ります。

② 必要に応じて、電源／バンド切換ボタンをもう一度押し、AMまたはFMを選びます。

電源が入っているときは、電源／バンド切換ボタンを押すたびに、AMとFMが切り換わります。



AM放送ランプ
※右図では
非表示

FM放送ランプ
選択しているバンドに応じて、AM放送ランプ
またはFM放送ランプが点灯します。

③ 時設定／選局(−)ボタンまたは分設定／選局(+)ボタンで、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

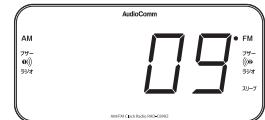
どちらのボタンも押すたびに、AMでは9kHz、FMでは0.1MHzごとに送られます。また、長押しすると周波数が自動で送られ、最初に受信した放送局で止まります。

周波数は約9秒間(長押しによる選局の場合は約4秒間)表示され、現在の時刻表示に変わります。その後は、約10秒ごと2秒間、周波数が表示されます。



④ アラーム1／音量(−)ボタン またはアラーム2／音量(+)ボタンで、音量を調節します。

00～16の間で調節できます(音量は約3秒間表示されます)。
音量の上げすぎにご注意ください。



⑤ 終了するときは、電源／バンド切換ボタンを長押しします。

電源が切れ、現在の時刻を表示します。

ラジオを聴く(つづき)

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



テープなどで留める

●FM放送の受信

FMワイヤーアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節し、テープなどを使って先端を壁に留めてください。



ヒント

テレビの近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

よく聴く放送局を登録する(プリセット選局)

よく聴く放送局を登録しておくと、簡単に選局することができます。AM、FMそれぞれ最大20局まで登録することができます。

時刻設定／メモリーボタン



プリセット登録のしかた

- 1 登録したい放送局を受信している状態で、時刻設定／メモリーボタンを長押しします。

プリセット番号「P01」が点滅します。

表示された番号で登録する場合は、③に進んでください。



- 2 必要に応じて、時設定／選局(-)ボタンまたは分設定／選局(+)ボタンでプリセット番号を変更します。



- 3 時刻設定／メモリーボタンを押します。

登録が確定し、受信周波数を表示します。その後、現在の時刻表示になります。

ご注意

操作しない時間が約9秒続くと、設定がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。

ヒント

すでに登録してあるプリセット番号は、新たに登録し直すことで上書きすることができます。

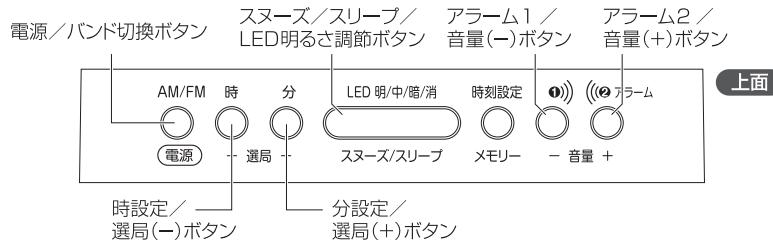
登録した放送局の選びかた

お聴きになりたいバンドを選んだ後、時刻設定／メモリーボタンを押すたびにプリセット番号が送られ、登録されている放送局を受信します。

アラームの使いかた

本機では、アラーム1とアラーム2の2つのアラームを使い分けることができます。また、アラーム起動音はブザー音またはFMラジオから選ぶことができます(AMラジオはアラーム音に設定できません)。

ご注意 本書ではアラーム1への設定方法を解説します。アラーム2に設定する場合は、「アラーム1／音量(ー)ボタン」を「アラーム2／音量(+)ボタン」に読み替えて操作してください(アラーム2設定時は、ディスプレイのランプ表示も、アラーム2側が点灯／点滅します)。



アラーム設定のしかた

電源が切れている状態で操作してください

ご注意 アラーム起動音をFMラジオに設定した場合、最後に聴いていた放送局でアラームが最大音量で起動します。あらかじめFM放送局を設定し、電源を切ったうえで、以下の操作をしてください。

1 アラーム1／音量(ー)ボタンを押します。

時刻表示とアラーム1ブザー音ランプが点滅します。

アラーム1ブザー音ランプ



ヒント FMラジオをアラーム起動音に設定するときは、もう一度、アラーム1／音量(ー)ボタンを押してください。アラーム1ラジオランプが点滅します。

アラーム1ラジオランプ



2 時設定／選局(ー)ボタンと分設定／選局(+)ボタンで、アラームの起動時刻を設定します。

時設定／選局(ー)ボタン：「時」を合わせます。

分設定／選局(+)ボタン：「分」を合わせます。

どちらのボタンも、長押しすると数字が早送りされます。



3 アラーム1／音量(ー)ボタンを押します。

点滅が停止して設定が確定します。約9秒間、何も操作しない状態が続いた場合も、そのまま設定が確定します。その後、現在の時刻表示に戻ります。

アラーム設定が有効なときは、現在の時刻を表示しているときでも、アラーム1ブザー音ランプが点灯します(FMラジオを選択時はアラーム1ラジオランプが点灯)。

ヒント 電源が切れているときにアラーム1／音量(ー)ボタンを押すと、設定したアラーム起動時刻とアラームランプが点滅し、設定時刻を確認することができます。

●起動時刻を変更するには：

点滅中に時設定／音量(ー)ボタンや分設定／音量(+)ボタンを押すと、起動時刻を変更することができます。

●アラーム起動音を変更したり、アラーム設定を解除するには：

- 点滅中にアラーム1／音量(ー)ボタンをさらに数回押すと、アラーム起動音の設定変更やアラーム設定の解除ができます。
- ブザー音(アラーム1ブザー音ランプが点灯)→FMラジオ(アラーム1ラジオランプが点灯)→設定解除(両ランプが消灯)の順で切り換わります。

※いずれの場合も、その後しばらくすると変更が確定し、現在の時刻表示に戻ります。

アラームが起動したら

アラームが起動すると、ブザー音またはFMラジオが規定の音量で鳴ります。FMラジオにて起動中のみ、音量調節が可能ですが(ブザー音の場合は、音量調節はできません)。

●アラーム音を止めるには：

電源／バンド切換ボタンを押してください。ただし、このままの状態では、アラーム1ブザー音ランプまたはアラーム1ラジオランプが点灯しており、翌日の同時刻に再び起動します。起動しないようにするには、上記ヒントの「アラーム起動音を変更したり、アラーム設定を解除するには」を参照して、アラーム設定を解除してください。

●スヌーズ機能について：

アラーム起動中にスヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタンを押すと、一時的にアラームが鳴り止みます。スヌーズ中は、設定したアラーム1ブザー音ランプまたはアラーム1ラジオランプが点滅します。そのままになると、約9分後に再びアラームが起動します。

スヌーズ中にアラームの再起動を解除するときは、電源／バンド切換ボタンを押してください。

ご注意 ●アラーム起動後、何も操作しない場合、1時間後に自動的に停止しますが、音量が大きいままだなります。周囲の迷惑にならないよう十分にご注意ください。

●FMラジオにてアラーム起動中に音量を調節した場合、アラーム停止後、再度電源を入れると、起動中に調節した音量で音声が出力されます(音量調節をしなかった場合は、前回終了時と同じレベルで出力されます)。

●アラーム1とアラーム2それぞれにアラームを設定し、かつ、起動時刻の時間差が1時間以内の場合、2番目の起動時刻になると、1番目のアラーム起動音は停止します(同時に2つのアラーム起動音は動作しません)。



スリープ機能について

自動で電源が切れるまでの時間を設定することができます。

- ① ラジオを聴いているときに、スヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタンを押します。
スリープランプが点灯し、「90」(電源が切れるまでの分数)が表示されます。



- ② 設定したい時間が表示されるまで、さらにスヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタンを数回押します。

90分から「OFF」まで、10分単位で設定できます。約5秒間、そのままにすると、設定が確定し、周波数→現在時刻の順で表示が切り換わります。



ヒント

- スリープ設定後、ラジオを聴いているときにスヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間を一時的に表示します。
- スリープ設定を解除したいときは、スヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタンをさらに数回押して、「OFF」を選んでください(ラジオの受信はそのまま続き、しばらくするとスリープランプが消灯します)。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源プラグは正しく家庭用コンセントに接続されていますか。
ラジオの音が出ない	●電源／バンド切換ボタンを押して電源を入れましたか。 ●音量が最小になっていませんか。
ラジオに雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。 また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
アラームが起動しない	●起動時刻を正しく設定しましたか。 ●設定したアラーム起動音に応じたランプが点灯していますか(点灯していない場合、アラーム設定が解除されています)。
ディスプレイが暗い	●スヌーズ／スリープ／LED明るさ調節ボタンを押して調節してみましたか。
電源プラグを抜き差しすると時刻設定がクリアされる	●時計バックアップ用乾電池が入っていますか。 ●時計バックアップ用乾電池が消耗している可能性があります。新しい乾電池と交換してみてください。

お手入れのしかた

●本機表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。

●電源コードのプラグにほこりがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

主な仕様

電源	AC 100V 50／60Hz 時計バックアップ用：DC3V 単4形乾電池×2本(別売)
定格消費電力	3.5W
実用最大出力	0.8W
受信周波数	AM：522～1710kHz(9kHzステップ) FM：76～108MHz(0.1MHzステップ)
アンテナ	AM：内蔵フェライトバーアンテナ FM：ワイヤーアンテナ
外形寸法	幅197×高さ94×奥行50mm(突起物含まず)
質量	約450g(時計バックアップ用乾電池を含まず、電源コードを含む)
時計精度	月差約±45秒
付属品	保証書付取扱説明書

※仕様及び外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

※本書のイラストは実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。